



ひこばえの会  
会員

変ですが、表紙の写真はどんな人が写っているとかどんなことをしているなどの

— 会を立ち上げたきっかけは何ですか？  
昭和57年ごろに当時の旧菊池市役所職員が市民を対象に立ち上げた団体が、職員の減少などで活動が停滞したので、その活動を引き継いだのがきっかけです。今は13人で活動しています。  
— いろんな人が利用されているんでしょう？  
利用者は、菊池市内に住んでいる目の不自由な人が対象ですが、高齢の人にも送っています。市内であればどこでもって感じですね。  
— 読む時に気をつけていることはありますか？  
そのまま読むのではなく、アレンジを加えたり、読む内容も選んでいます。地域のことや利用者に関係のある記事を選びますね。写真は説明が難しく大変ですが、表紙の写真はどんな人が写っているとかどんなことをしているなどの

テープが届くのを待っている人がいるんです

特集

# 「声を届ける」

自分の思いを届ける。簡単なようで、簡単にはいかなくて、ただ届けてほしいという意思を持って、届けるために頑張っている人が、同じまちにいます。届けてほしい「声」があります。



手渡すことで交流が生まれるんです

— 会を立ち上げたきっかけは何ですか？  
平成7年に県が行っていた音声訳ボランティアの講座を通じて土肥和子先生に指導を受けたのが始まりです。現在は、8人の会員が2グループに分かれて、偶数月と奇数月の録音をしています。  
— いろんな人が利用されているんでしょう？  
利用者は、泗水地域に住んでいる人で、希望があれば受け入れています。  
— 読む時に気をつけていることはありますか？  
今は利用者が泗水の人ばかりなので、泗水に関係する記事を中心に記事を選んで読んでいます。120分テープを使っているんですが、足りなくて最後を切ったこともあるんですよ。  
目で見て分かることでも、耳だけで聴く立場になると分からないこともあります。声に出して読むと意味が分かりにくいものがあるって、それはみんな



出口 和子さん  
ひこばえの会会長  
家庭菜園できゅうりやなすをつくるのが楽しみ

説明を加えています。  
— 苦労していることはありますか？  
長く続けているのに、読み方が上手にならないことかな(笑)。ゆっくり話そうと思うけど、緊張すると早口になってしまうんです。  
あとは、文字として見たら意味が分かる言葉も、読んだだけじゃ難しくて意味が通じなかつたりすることがあるので、そんな言葉をどう伝えるか考えますね。言葉だけじゃなく、グラフなどで説明されているものはどう伝えようかって考えてしまいますね。  
— 続けられる理由は何でしょう？  
自分の声が届くことが嬉しいのかもしれないですね。「いつもありがとう」ってお手紙をもらうこともあるんですよ。待つてくれる人がいてくれて、一生懸命聴いてくれるんです。それが励みになりますね。

問い合わせ先 ひこばえの会(出口)

☎(24) 4586

※希望者は事前申込・登録が必要です。詳しくは問い合わせてください。



吉田 弘子さん  
設立当初から参加  
民生委員も勤めるなど精力的に活動

— 会を立ち上げたきっかけは何ですか？  
平成7年に県が行っていた音声訳ボランティアの講座を通じて土肥和子先生に指導を受けたのが始まりです。現在は、8人の会員が2グループに分かれて、偶数月と奇数月の録音をしています。  
— いろんな人が利用されているんでしょう？  
利用者は、泗水地域に住んでいる人で、希望があれば受け入れています。  
— 読む時に気をつけていることはありますか？  
今は利用者が泗水の人ばかりなので、泗水に関係する記事を中心に記事を選んで読んでいます。120分テープを使っているんですが、足りなくて最後を切ったこともあるんですよ。  
目で見て分かることでも、耳だけで聴く立場になると分からないこともあります。声に出して読むと意味が分かりにくいものがあるって、それはみんな

問い合わせ先

☎080(6427)3533

音声訳ボランティア輪々(宇佐川)



宇佐川 訓子さん  
音声訳ボランティア輪々の代表を勤めるほか、放送大学でドイツ語サークルにも参加

— 苦労していることはありますか？  
人の名前や地名が難しいですね。あとは会員がもっと増えてくれればいいかな。ずっと文字を見ていると目が疲れるので、若い人がもっと参加してくれたいと思います。  
— 続けられる理由は何でしょう？  
毎月テープを会員で届けているんですが、一人暮らしをされている人とかとても心待ちにしてくれているんです。話し相手を求めている感じで、声が枯れると心配してくれますね。手渡すことで交流が生まれて、相手にも喜んでもらえるし、私たちも嬉しいです。

音声ボランティア  
音訳ボランティアという活動を  
知っていますか？  
目が不自由な人に、声を吹き込んだテープを届けるという方法で情報を伝えるものです。  
利用者は、「読む」のではなく、「聴く」という方法で地域の情報を得ることが出来ます。  
— 声で届ける広報紙  
菊池市にも、音訳ボランティアグループがあります。広報きくちや議会だより、社協だよりをテープに吹き込んで届けるのが主な活動です。  
参加しているのは主婦やヘルパー、仕事を退職した人などさまざま。経験者もいれば、初心者で一から音声収録を学んだ人もいます。  
1冊を3、4人で分担して読みますが、巻き戻したり何度も言い換えたりして、1冊の録音には何時間もかかるそうです。  
菊池市内でボランティア活動をしているひこばえの会と音声訳ボランティア輪々。それぞれの参加者に、ボランティア活動の苦勞や魅力を伺いました。